

日本風景街道 あれこれ

◆関東交流会 第2回ミーティングを開催

「日本風景街道 関東交流会 第2回ミーティング」が2月19日、東京で開催されました。関東エリアの11ルートの代表者や事務局担当者、国土交通省の各道事務所などから、合わせて約50人が出席しました。

この中で、シーニックバイウェイ北海道の指定ルートである「大雪・富良野ルート」の谷川良一氏(NPO法人グラウンドワーク西神楽 理事)が、「「みち」からはじまる地域づくり」と題して先進事例を報告。設置された看板など景観支障物件調査の実施、コンビニの空き店舗を活用した情報拠点の開設、景観対応型の有料トイレの試行など、さまざまな取り組みが紹介されました。

また、谷川氏はシーニックバイウェイとして取り組んできたこれまでの4年間の成果として、「連携することでブランド力が上がり、お互いに可能性も広がることに気づきました。たとえば大雪・富良野ルートとして窓口を一本化したことによって、自動車会社やビール会社といった大手企業が我々の提案を聞いてくれるんです」と話していました。会場からは、「当初どうやって団体が集まったのか」「ルートのマネージメント方法は」「市町村とのパートナーシップは」といった質問が寄せられました。

当日は谷川氏の発表に続いて、千曲川・花の里山風景街道(長野)、八ヶ岳南麓風景街道(山梨)、日本風景街道298三郷(埼玉)の活動する代表者の方々が発表し、参加者からは活発な質疑があり、他事例の取り組みに大いに刺激を受けていました。



かんとう風景街道 活動メンバーの声

関東エリアの交流会や広報活動について、たくさんの意見をいただきました。その一部を紹介します。

ホームページについて

- ・より突っ込んだ内容はリンクを張るなどして各ルートのHPへ行けば良いが、浅く広い情報はこのHPで紹介してほしい。
- ・観光にかかわるホームページは多数あり、また、ホームページを持つ活動団体もある。現在は横の連携が取れていないが、いずれは日本風景街道のルートとしてサイトを開設し、これらのポータルサイトとしたい。
- ・各ルートのサイトは、それぞれの事情があるので一様でなくてよいと思うが、内容や更新頻度などの最低限の基準は示し合わせるべきではないか。

関東交流会について

- ・関東エリア及び近隣の事例が知りたい。相互訪問なども良いのでは。
- ・負の遺産を克服し、正の遺産として地域づくりを行ってきた事例を紹介してほしい。

交流会誌について

- ・各ルートを一冊に扱うのではなく、活発な地域はもっと取り上げてほしい。
- ・他のルートの具体的な取り組みがわかるとうれしい。知りたい情報は「どんなメンバーがどんな会合をして、今どんなステップにいるのか」である。

◆第五回 日本風景街道戦略会議ワーキンググループ開催

日本風景街道戦略会議ワーキンググループでは、当戦略会議が行う現地視察・ヒアリングおよび地方整備局からの各ルートの活動報告を受けて、日本風景街道の理念・仕組み・制度を検討し、これまで昨年の5月から計4回を開催してきました。

本年2月、第5回目のワーキンググループが開催され、今後の日本風景街道活動団体の「評価」についてや登録申請のあり方についてなどが議論されました。

日本風景街道 関東エリアの ホームページ 情報募集中!



地域イベントや活動情報など、風景街道にかかわる情報なら何でもOK。皆様の地域情報発信にお役にてください。

また、四季折々の地域資源やイベントに関する写真を事務局にお寄せください。

これからも関東以外のエリアのHPとの相互リンクや活動団体の新着情報の追加を望み、各ルートの紹介ページも季節や活動状況に合わせて充実していきます。

かんとう風景街道ニュース

発行/日本風景街道関東交流会事務局

<http://www.ktr.mlit.go.jp/kanto-fukei/>

●交流会事務局問合せ

国土交通省関東地方整備局 道徳部 道徳計画第二課
埼玉県さいたま市中央区新都心2-1 合同庁舎2号館19階
E-mail fukeikaido-jm@ktr.mlit.go.jp
電話:048-600-1342 FAX:048-600-1385